



# ほづみ

郡山市立穂積小学校  
学校便り No.36  
令和6年1月9日  
文責：校長 中澤修一

## 今年もよろしくお願いいたします

今日から、第3学期のスタートです。  
第3学期の授業日数は51日です。  
第3学期始業式で、私は子ども  
たちに次のような話をしました。



みなさん、あけましておめでとうございます。冬休みを楽しく過ごすことができましたか。1月5日(金)の「オンライン全校集会」に参加してくれたみなさんありがとうございました。本当でしたら、みんなの元気な顔を直接見ながらお話をしたいのですが、今回もみなさんに見てもらいたい動画ありますので、オンラインでお話をさせていただきます。

今日から、第3学期が始まりました。第3学期は51日間という1年間で一番短い学期です。また、令和6年(2024年)の始まりでもあります。2024年が、みなさんにとってよい年となることを祈っています。

年の初めにあたり、校長先生からみなさんにお話したいことがあります。それは、「自分の夢をもつこと」「その夢に向かってがんばること」です。

みなさんは、大谷翔平選手を知っていますか。たぶん、ほとんどの人が知っていると思います。もしかしたら、今、世界中で一番有名な人かもしれませんね。大谷選手は、アメリカのメジャーリーグで、投手としても打者としても大活躍をして、たくさんの賞をもらいました。

さて、その大谷選手は小学生の頃、どのような少年だったのでしょうか。小学生の頃のエピソードが分かる動画を、これから流しますので観てみましょう。約10分の動画になります。

(動画「大谷翔平エピソード」)

どうでしたか?改めて大谷選手のすごさがわかりましたね。大谷選手は、子どものころからすごかったんですね。そのような中でも、「他の子どもとは違っていたんだな」というところがありました。1つ目は、友だちみんなが軟式の野球部に行こうとしていたのに、大谷選手は、友だちに流されず、自分の意志で硬式の野球部に入部したことです。2つ目は、他の友だちがゲームに夢中になっている時も、ゲームをやらずに、野球に一生懸命取り組んでいたことです。もし、小学生の時、友だちに流されて軟式の野球部に入部していたら、また、友だちといっしょにゲームばかりしていたら、今の大谷選手にはならなかったかもしれませんね。「自分の夢をもつこと」「その夢に向かってがんばること」の大切さを、大谷選手が教えてくれたような気がします。

さて、みなさんは自分の夢があるのでしょうか。もし、自分の夢がある人は、夢をかなえるためには何をすればよいのかを考え、その夢に向かってがんばってくださいね。

今年も、教職員一同で、子どもたちが「毎日が楽しい」と思えるような学校づくりに努めていきたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 大谷選手からのプレゼント

メジャーリーガーの大谷翔平選手から、本校にもプレゼントが届きました。

大谷選手のサイン入りグローブです。とても素敵なプレゼントです。

大切に飾るのではなく、子どもたちにどん  
どん活用させたいと考えています。

大谷選手、ありがとうございました。



開くと



## 【大谷選手からのメッセージです】

学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平